



▼市長選挙に立候補したきっかけを聞かせて下さい。

多くの市民の方々から、ぜひ立候補してほしい、という応援をいただいたことがきっかけです。

市職員時代には、たくさんの方々と、業務を通じて一緒に仕事をさせていただきました。市民の皆さんに「産

業、経済を中心に、宮古市を前に進めていきたい」という強い思いがあるのを感じていました。そうした思いにお応えするべく、立候補を決意しました。

▼市政を運営していく上で基本姿勢と抱負を聞かせて下さい。

市長は行政のリーダーでありますが、私の考える

リーダー像は、市民の皆さんから様々な意見をいただき、先輩方の知恵に加え、若者の発想や新しい風を取り入れ、そこに自分の思いも加えて、先頭に立って物事を進める人物だと考えています。

「みんなで創る宮古の未来」の考えのもと、市民の皆さんも巻き込みながら、まちづくりを進めていきたいと考えています。

中村尚道

新市長に聞く

6月の宮古市長選挙で当選し、7月3日に本市の新たなかじ取り役として就任した中村尚道新市長に、今後の市の課題やマニフェストに基づいた施策、市の将来像について聞きました。

先輩方の知恵、若者の発想、新しい風を取り入れ、多様な価値を活かす宮古市へ

▼5つの重要施策を示しているマニフェストについて一つずつ伺います。まず、「地域産業の振興」について聞かせて下さい。

ここでは、第一次産品から工業製品まで、大きくまとめて「モノ」と呼ばせていただきます。産業の活性化を図るためには、宮古でモノを産み出せる環境を作ることが大切だと考えています。農林水産業などの一次産業、製造業などの二次産業にも共通する考えです。

モノづくりをすることで、経済の循環が生まれます。仕事も生まれます。本市がモノを産み出す拠点となる仕組みができれば、地域の経済・産業の強みになります。本市の経済を支える観光業にも、波及するものと思います。そのためには、市内の事業者・企業が、

モノづくりしやすい、新たなモノを産み出しやすい環境にあることが重要です。この環境整備を、行政の立場からサポートしてまいります。

▼次に「ひと・地域を育てる環境の充実」について聞かせて下さい。

市民の皆さんの声を聞くために宮古市を隅々まで歩いてきました。各地域では、それぞれの特色に合わせた個性豊かな生活が営まれています。そこで暮らす方々が、幸せを感じられるように、生活を支えていきたいと考えています。市が、今まで以上に地域に入って、声を聞き、地域社会を担う個性豊かで多様な人材や地域活動を応援できる体制を作っていきたいと考えています。

視点も世代や環境などに

よって異なります。それぞれの意見をしっかりと吸い上げ、全世代に宮古の魅力を伝えていくことが大切だと考えます。

▼「賑わいのある中心市街地の形成」について聞かせて下さい。

中心市街地には、多くの店舗・事業所が集積しています。中心市街地に人を呼び込む仕掛けや、環境づくりといった「賑わいの創出」は、行政が大きく関わるところだと思っています。

皆さんの関心は、キャトル跡地の活用方法だと思います。本年度から2カ年計画で建物本体の解体工事を実施します。併せて、宮古駅前エリアの再整備について、人が集い、交流が生まれる場にするため、青写真を示しながら、皆さんの声を聞いて、進めていきたい



Profile

昭和53年 宮古市生まれ
平成3年 津軽石小学校卒業
平成6年 津軽石中学校卒業
平成9年 宮古高等学校卒業
平成13年 大東文化大学法学部卒業
平成13年 宮古市役所採用
令和元年 市産業振興部産業支援センター産業支援係長
令和4年 市企画部企画課企画調整係長
令和5年 市企画部企画課副主幹兼企画調整係長
令和6年 企画部秘書課長

〔モットー〕 誠実
〔スポーツ〕 野球